

使用済みの食用油回収から、地球温暖化対策へ！

西洗自治会は2月4日(土)から、各家庭からの廃食油(使用済み天ぷら油)回収を始めました。1月28日(土)、佐藤一子先生(横浜市地球温暖化対策協議会)の講演会「使用済み食用油の回収について」に参加し、温暖化対策について学びました。誰もができる、身近なことから、二酸化炭素の排出を減らしていきたいものです。

(記:H.W) (にしあらい自治会HPより:👉)



1.COP21 パリ協定とは？	2015年秋開催、第21回 気候変動枠組条約締約国会議の協定
2.パリ協定の主な内容は？	世界全体の温室効果ガス排出量削減方針と長期目標の設定
	世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して2℃未満に抑制
3.日本・横浜の取り組みは？	日本:2030年までに2013年比で、温室効果ガスの26%削減
	横浜:ヨコハマ3R 夢プラン(一般廃棄物処理計画)の策定と実施
4.私たちにできる温暖対策は？	化石燃料の消費を減らす努力(燃料や電力消費抑制、バスや鉄道利用)
	上手な買い物、エコな生活(節電・節水など)、ごみの分別廃棄など
5.食用油を回収する目的は？	廃食油の未処理は大気や海水の汚染要因、回収・再生処理しCO2を削減
6.廃食油のリサイクル例は？	原料に!!(飼料や肥料、工業用石鹸)、燃料に!!(重油や航空機燃料)

地域の子ども達は…学習の成果を発信しています(-)その一部を紹介します!



日限山小学校と南舞岡小学校の通学区域と学校規模適正化についての検討部会が発足し、具体的な対応を検討しているといったニュースは、全戸配布の印刷物でご覧になっている事と存じます。この地域の少子高齢化はこんな形で迫って来たか!と改めて思い知らされました。

先日、日限山小学校の4年生が国語科や社会科で学んだ事を活かし、自然災害に対する備えや考え方について、ポスターにしたものを目にする機会がありました。【揺れた時にはシェイクアウト(自分を守る・自助)】と題し、姿勢を低く頭や体等を守り、揺れが収まるまで動かない。と書かれてありました。日頃からシェイクアウト訓練を意識して、皆さんも地震で揺れた時には、是非“シェイクアウト”を実践しましょう!



(記:Y.A)



▼毎年恒例の南舞岡小「舞句展」!地域の方も参加OK、来年は一句いかがでしょうか!



▼日限山中個別支援学級の生徒が作業学習の時間を使って作った作品です。販売学習として校内フリーマーケットを行いました。

発行:(通称)ひぎり地区民児協 会長:和田 弘

本日の訪問者:(担当区域の民生員名が記載されます)

お変わりありませんか?